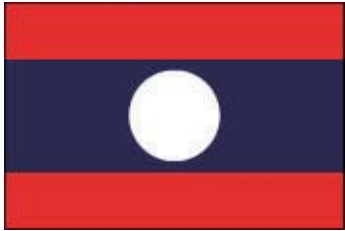


<b>ラオス人民民主共和国</b>		国 の 概 要	首都	ビエンチャン
 <p>ラオス愛国戦線（パテトラオ）が使用していたもので、赤は革命に流した血を、青は国の繁栄を、白い円は未来への展望と約束を表している。</p> <p>独立：1949/7/19 国連加盟：1955/12/14 政体：人民共和制</p>	国土		面積 23万7,000 km <sup>2</sup> （本州と同じ） インドシナ半島中央部に位置する内陸国で、西部のタイとの国境はメコン川、東部のベトナムとの国境はアンナン山脈である。国土の8割を山地と高原が占め、平地はメコン川流域に開ける程度である。メコン川の支流が多く、国土の3分の2は森林である。	
	人口		約600万人	
	言語		ラオ語（公用語）	
	通貨		キープ	
	気候		全般に高温多湿で南部は熱帯、北部は亜熱帯気候である。モンスーンの影響を受け、多量の雨をもたらす5～9月の雨季と10～4月の乾季にはっきり分れている。	
	民族		低地ラオ族68%、その他50近くの少数民族	
	宗教		仏教60%、部族宗教など40%	
	教 育 制 度 の 概 要	学校体系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初等教育（小学校）5年（6～10歳）、中等教育前期（中学校）3年（11～13歳）、中等教育後期（高等学校）3年（14～16歳）及び職業学校3年（14～16歳）、教員養成学校（小学校教員養成）3年（14～16歳）、高等教育として国立大学5年（17～21歳）、教員養成学校（小学校教員養成）1年（17歳）、技術学校2年（17～18歳）、教員養成学校（中学校教員養成）3年（17～19歳）医学部は保健省の管轄化にあり3～7年の課程である。</li> </ul>	
義務教育		<ul style="list-style-type: none"> <li>・義務教育は初等教育（小学校）の5年間である。</li> <li>・就学年齢に特段の定めがなく、概ね6歳で小学校の第1学年に入学しているが、6歳以前で入学する児童もいれば10歳で入学する児童もいる。</li> <li>・授業料は無料であるが、施設修繕費として負担を求められる場合がある。</li> </ul>		
日本と比較した教育課程上の特徴		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校年度は9月1日から翌年の6月1日までで、2学期制を採っている。1学期は9月1日～1月20日、2学期は1月27日～6月1日である。</li> <li>・就学人口に対して学校の数・質ともに十分ではなく、午前と午後の2部制を実施している地域もある。</li> </ul>		

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書やノート類も十分ではなく、教科書は教師だけが持ち、児童生徒は教師の話聞き取るか、黒板に書かれたことを持参したノートに書き取っている。</li> <li>・教授言語はラオス語で、教科はラオス語、算数、私たちの身の回り、芸術、体育、音楽、工芸などである。</li> <li>・ビエンチャン特別区にある中・高一貫校では、月曜～金曜日までの5日間行われ、授業は午前8時～午後4時半までで、昼休みは1時間半ある。クラスは1年生から英語コースとフランス語コースに分かれており、選択が可能である。授業は7時間目まであり、そのうち、6時間が授業、1時間が部活動にあてられる。</li> </ul>
	義務教育後の教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中等教育以上は試験があり合格しないと進級できない。</li> <li>・中・高等学校は単位制のため、単位の取得状況によって早く進級したり、卒業したりする。</li> <li>・中学校は県単位、高校は全国単位でそれぞれ卒業認定試験がある。大学への進学率は全国平均で2%程度である。</li> </ul>
	就学前教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・義務ではないが、小学校入学に先立ち、子どもたちを身体的、情緒的、社会的および精神的に備えさせる目的から、3歳から5歳児を対象に幼稚園、保育園において有料で行っている。</li> <li>・保護者が勤務する官庁などの機関が設置し、運営している例が多い。</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政府の教育予算が極めて少ないので、適切な校舎がなく、教科書もなく、適切な訓練・研修を受けていない教師が全体の19%もいる。教師への給与支払いも遅延している。</li> <li>・初等教育においては、貧困、通学困難等の理由により、入学後に退学する児童が多い。</li> </ul>
学 校 生 活	飛び級、落第の有無	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進級のために必要な出席日数が定められている。</li> <li>・小テストが実施され、成績評価の基となる。</li> </ul>
	給食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食はない。家に帰って昼食をとる生徒が多い。</li> </ul>
	校則	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都ビエンチャン市の学校では小学校から大学まで制服が普及しているが、地方の学校では制服は一般的ではない。</li> </ul>
	保護者の授業参観、保護者会、PTA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業料は無料であるが、施設修繕費として負担を求められる場合がある。</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の中にお菓子屋さんがある。休み時間になると、子どもたちは集まってきて、小さなお菓子を食ったり、ジュー</li> </ul>

		スを飲んだりする。先生たちもひまわりの種を食べたりしている。
生活習慣等	食生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もち米を主食にし、手で小さく丸めながらカレーなどのおかずにつけながら食べる。</li> <li>・メコン川で鯉によく似た魚がとれ、刺し身で食べる。</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャンケン「ティー ソム」といい、日本と同じようにハンマー（カン ムー）とはさみ（ミー タッ）と紙（チア）で勝負する。ハンマーははさみに勝って、はさみは紙に勝って、紙はハンマーに勝つ。</li> <li>・日本のテレビドラマやアニメ、音楽についての関心が高く、「日本の技術力はすごい」と思っている生徒が多い。</li> </ul>

<参考資料>

- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・諸外国の学校情報・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・世界の学校を見てみよう！（キッズ外務省）・・・・・・・・外務省
- ・ジュニア世界の国旗図鑑・・・・・・・・・・・・・・・・平凡社
- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・アトラス
- ・世界の郷土料理・・・・・・・・・・・・・・・・KDDI
- ・おもしろジャンケン・・・・・・・・・・・・・・・・日本アセアンセンター